

小学部 1 年生活科（運動あそび）学習指導案

大阪府立和泉支援学校

T1 阪下 恭香

T2 曾我 葉子

T3 堀川 知華

T4 塩田 朱理

T5 大久保 菜摘

T6 藤原 千聡

1. 日時 令和6年9月17日（火）第5時限（13:20～14:00）
2. 場所 第1学年1組教室
3. 学部・学年 小学部 第1学年 2・3・4組
4. 単元（題材）名 「どうぶつえんにいこう！」
5. 単元（題材）目標
 - ・簡単な動きを模倣したり、自分から体を動かしたりすることができる。（知・技）
 - ・動物をイメージしながら、体を動かして表現しようとする。（思・判・表）
 - ・学年の教員や友だちと一緒に、楽しみながら取り組むことができる。（学・人）

<和泉支援学校キャリアプランニングマトリックス>

- ・自分で〔意思決定〕自己選択①あそびや活動に取り組むことができる。

6. 児童観

小学部 1 年生は5クラス26人の集団である。授業においては学年を2グループに分けておこなっており、本グループは男子11人、女子4人、計15人の3クラス合同グループである。本グループは6月下旬から編成された集団であり、他クラスとの活動を楽しみにしている児童もいれば、慣れない集団や教室での活動とあって、見通しがもてずに気持ちが不安定になって離席しようとしたり、受け身になってしまう児童がいたりする。また、友だちの様子を伺いながら参加しようとしている児童もいる。

児童は学校生活のおおまかな流れがわかりつつあり、落ち着いて過ごせるようになってきた。休憩時間には、おもちゃで遊んだり、ホールや屋外で遊んだり、好きな遊びを見つけてきている。見守りを受けながら手順カードを見て一人で取り組んだり、マンツーマンで教員の支援を受けたりしながら、遊びの時間を励みに身支度（荷物の支度や着替え）や授業に取り組んでいる。

生活科においては、集団遊びとしてバスごっこあそびに取り組んでいる。ふれあい遊びや絵本読みが好きな児童が多く、それらを取り入れながら授業を展開することで、短時間だと活動に注目できることも増えてきている。繰り返し取り組むことで見通しがもて、連結したフラフープに入り、複数人でつながってバスごっこができるなど、友だちを意識しながら集団での学習に取り組めるようになってきている。

7. 教材観

本単元は動物園をテーマに活動する。動物が好きな児童が多く、身近で親しみやすいものであることや、動きや鳴き声など、イメージをもって活動に取り組むことができる題材である。体を動かすことが好きな児童が多いが、体の動かし方がぎこちない児童が多い。動物は多種多様な種類があることから、様々な動物に見立てながら児童の実態に即した課題が設定できると考える。

学習の導入として、毎時間動物の映像を見る時間を設けて、動物のイメージとともに、設定している動き（横転やジャンプ等）のイメージももてるようにしている。また、水中を泳いだりジャンプしたりするイルカに見立てた活動では、リングにキラキラテープをつけたり、リングやボールに鈴をつけたりしている。くぐるときやジャンプしてボールに触れると音が鳴ることで、視覚的にも聴覚的にも児童が興味をもてるようにした。あわせて活動中は音楽を使用して、楽しい雰囲気の中で自分から体を動かしたいという気持ちを引き出せるようにしている。

自分なりに動物になりきったり、手本を模倣したりしながら様々な体の動きを経験することで、体を動かす楽しさを知り、自分から体を動かしたいという主体的な気持ちにつなげることをねらいとしている。

8. 指導観

指導にあたっては、児童が見通しをもって取り組めるよう、動物園に行くという一連のテーマで授業を展開し、活動の流れを統一するようにしている。児童の実態として、長時間の活動への注目や着席が難しい児童もいることから、バスで動物園に行く、動物園から学校に帰るとい、短い時間で場面が転換していくことで、次の活動に期待感をもち、着席のきっかけになったり、主体的に活動に取り組めたりすると考えている。児童にとっては、午後からの授業は眠気や疲れが見られることが多く、それらが気持ちの興奮や不安定につながり活動に集中しづらい時間帯である。そのため、授業のはじめに動物の動画をテレビ画面に映して視聴する時間を少し長めに設けている。テレビに動物の映像を映し出すことで、多くの児童が興味を示し、着席して注目することができており落ち着いて活動に参加できるきっかけになるようにしている。

授業中に待ち時間があることで集中力が途切れたり、離席につながったりする。そのため、全員で活動して待ち時間をできるだけ短くするようにしている。また、全体での活動だけでなく一人ずつ活動して、友だちの取り組む様子を見たり順番を短時間待ったりする経験もできるようにしている。

動画を見る静的な活動と体を動かす動的な活動を配分をすることや、待ち時間を短縮したり、教員間で役割を分担してスムーズに授業を進行したりすることで、児童がより活動に注目できるようにし、主体的に学習に取り組む学習姿勢づくりにつなげていきたい。

9. 単元（題材）の評価規準

A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
①体の動かし方を知り、教員と一緒に体を動かそうとしている。 ②教員の手本を見たり、教員の支援を受けたりしながら、体を動かそうとしている。	①動物に興味や関心をもって取り組もうとしている。 ②動物のイメージをもち、自分なりに体を動かして表現している。	①グループの雰囲気に慣れ、教員や友だちと一緒に活動しようとしている。 ②自分から体を動かそうとしている。

10. 単元（題材）の指導と評価の計画（全6時間、本時は第6時）

次	時	学習内容	学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
1	1 ～ 3	①動物の動画視聴 ②バスごっこ ③どうぶつえんにいこう ④バスごっこ	①動物の動画を視聴する。 ②④友だちや教員とつながりながら、バスごっこをする。 ③動物になりきって体を動かす。 (1)パンダ（横転） (2)イルカ（ジャンプ）	①動物に関心をもてるよう、動物の特徴についてなど言葉がけをする。 ②④大きい身振りで手本を示す。友だちや教員と一緒に楽しくふれあい遊びができる雰囲気づくりをする。 ③(1)近くで手本を示す。 (2)鈴を鳴らしながらボールを目線の高さに合わせて提示し、触ってみようという気持ちを引き出す。	A①B①C① (行動観察)
2	4 ～ 6	①動物の動画視聴 ②バスごっこ ③どうぶつえんにいこう ④バスごっこ	①動物の動画を視聴する。 ②④友だちや教員とつながりながら、バスごっこをする。 ③動物になりきって体を動かす。 (1)パンダ（横転） (2)イルカ（リングくぐり） (3)イルカ（ジャンプ）	①動物のイメージや動きのイメージがもてるように言葉がけをする。 ②④大きい身振りで手本を示す。友だちや教員と一緒に楽しくふれあい遊びができる雰囲気づくりをする。 ③(1)安全に配慮しつつ、児童なりのイメージの横転を評価し、共有する。 (2)四つ這い姿勢がとれるよう、手本を示したり、体に触れたりして伝える。 (3)児童の実態に応じてボールの高さを調整し、触ってみようという気持ちをジャンプにつなげられるようにする。	A②B②C② (行動観察)

11. 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・動きを模倣したり動物をイメージしたりして、横転やジャンプすることができる
- ・教員や友だちと一緒に、楽しみながら主体的に体を動かすことができる。

(2) 本時の評価規準

- ・教員の手本を模倣したり、動物になりきったりして体を動かそうとしている。(A②、B②)
- ・教員や友だちと一緒に、主体的に体を動かそうとしている。(C②)

(3) 本時で扱う教材・教具

大型テレビ、iPad、延長コード、ケーブル、動物・予定動画、活動カード、ベンチいす、CD デッキ、ひも付きフラフープ、リング付きマット、柄付きのボール

(4) 児童生徒の実態と本時の目標

※省略※

(5) 本時の学習過程

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点及び支援の手だて等	評価規準（評価方法）
10分	・着席後、上靴、靴下を脱いで、自席下に片づける。 導 入 ○はじまりのあいさつ ○今日の活動を知る ・動物の映像を見る ・活動内容を聞く	・おもちゃや絵本、テレビなど気になるものが見えないようにして、環境を整えてからあいさつをする。 ・動画を上映し、児童が動物や動きのイメージをもてるようにする。「ころころ」などの擬音語を使って動きを伝える言葉がけをする。 ・文字やイラストを提示して、簡潔に伝える。	
17分	○どうぶつえんにいこう 1. バスにのって（ふれあい遊び） ・座る向きを変え、教員や友だちと縦並びになってつながる。 ・「どうぶつえんにしゅっぱつ」のかけ声で、『バスにのって』のふれあい遊びをする。 2. どうぶつえんにいこう (パンダ) 全員でおこなう ①床に寝ころぶ ②曲がかかっている間横転する ③曲が止まると自席へ戻る (イルカ) 一人ずつおこなう ①クラスごとに前に出る ②リングを四つ這いでくぐる	・大きい身振りで手本を示し、模倣できるようにする。 ・かけ声などをして、友だちや教員と一緒に楽しくふれあい遊びができる雰囲気づくりをする。 ・活動が終わるごとに端的にふりかえりをおこない、児童の頑張りを評価したり、工夫を共有したりする。 (パンダ) ・周囲の安全に十分注意しながら横転できるようにする。 ・曲がかかっている間は横転する、曲が止まったら自席へ戻るよう促す。 (イルカ) ・手本を示したり、体に触れたりして四つ這い姿勢を促す。	A②B②C②（行動観察）

	<p>③ジャンプしてボールをタッチする</p> <p>3. バスにのって (ふれあい遊び)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・座る向きを変え、教員や友達と縦並びになってつながる。 ・「がっこうにしゅっぱつ」のかけ声で、『バスにのって』のふれあい遊びをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールを目線の高さまで降ろし、ジャンプの前にボールの位置を確認できるようにする。 ・ボールの高さを調整し、触ってみようという気持ちをジャンプにつなげられるようにする。 ・大きい身振りで手本を示し、模倣できるようにする。 ・かけ声などをして、友達や教員と一緒に楽しくふれあい遊びができる雰囲気づくりをする。 	
<p>3分 ま と め</p>	<p>○おわりのあいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の振り返りをおこない、あいさつをする ・あいさつ後、靴下と上靴を履く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動カードを使用しながら、簡潔に振り返りをおこない、あいさつをする。 	

(6) 教室配置等 (正面を上にして、児童生徒や教員の位置、教材・教具の配置等を示す)

